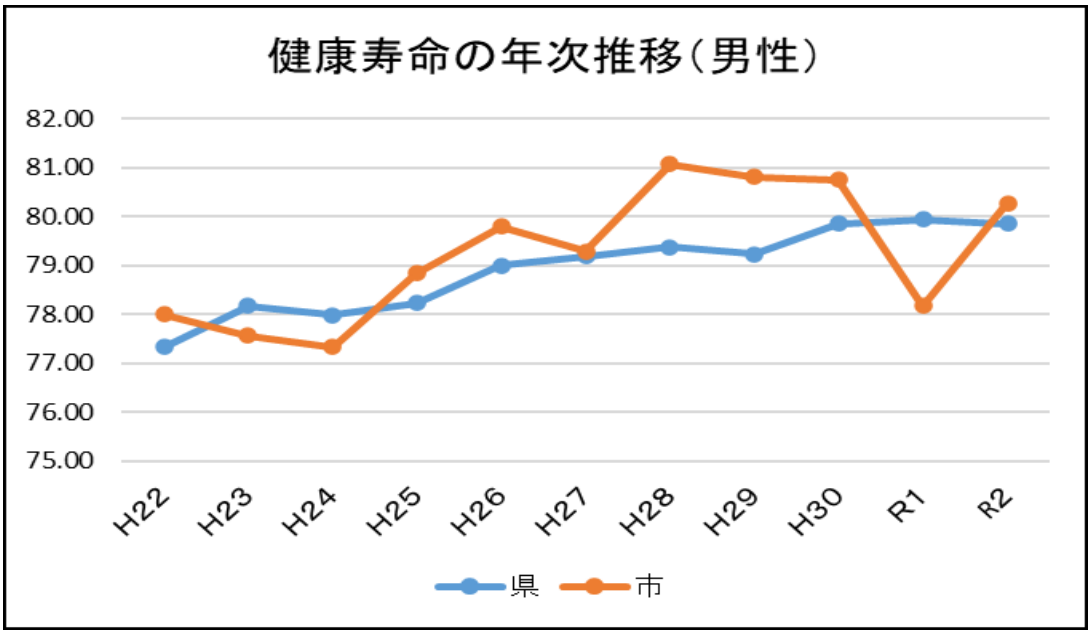
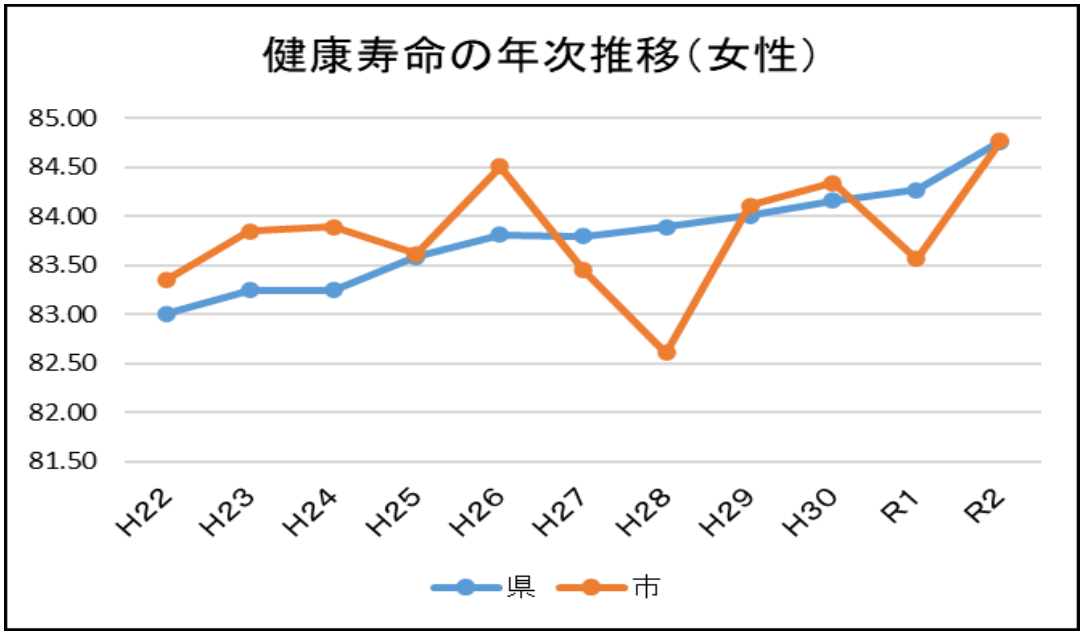
Ⅱ　山陽小野田市を取り巻く現状

１　健康寿命

令和２年度（2020 年度）で、男性 80.28 歳、女性 84.77 歳です。県内の１３市中、男性は３位（前年度最下位）、女性は６位（前年度 11 位）となっています。



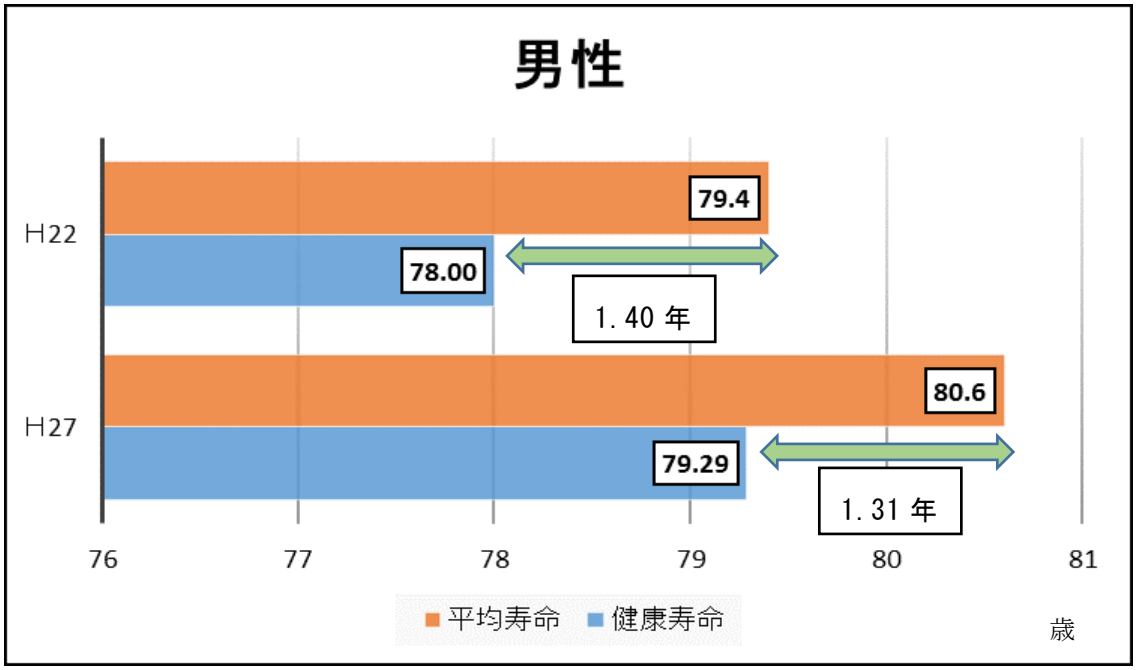


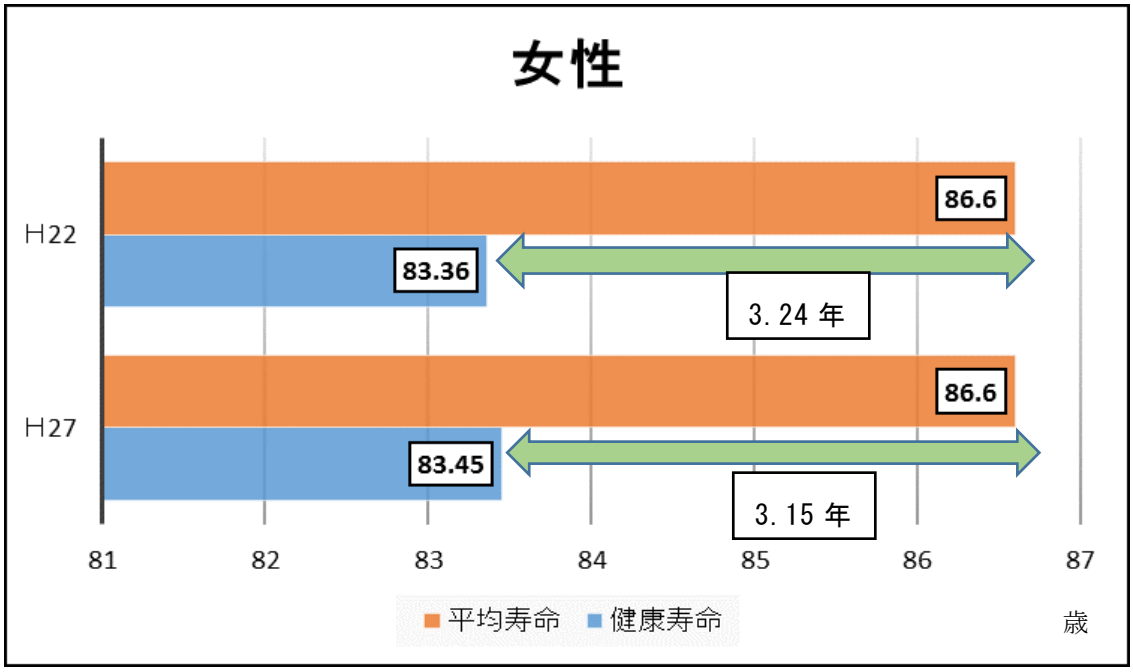
（出典）山口県健康増進課「健康寿命（日常生活動作が自立している期間の平均）の算出」

＜本市の平均寿命と健康寿命の差＞

平均寿命と健康寿命の差が「健康でない期間」と考えられます。当市の平均寿命は厚生労働省「市区町村別生命表」で公表されたものでしか把握できない為、その平均寿命と県が算出した健康寿命の差をみます。

※平均寿命の公表が５年に１度(R2データは未公表)のため、健康寿命もH22及びH27年で比較します。





（出典）平均寿命：厚生労働省「市区町村別生命表」
健康寿命：山口県健康増進課「健康寿命（日常生活動作が自立している期間の平均）の算出」

（参考）本市の健康寿命の算定について

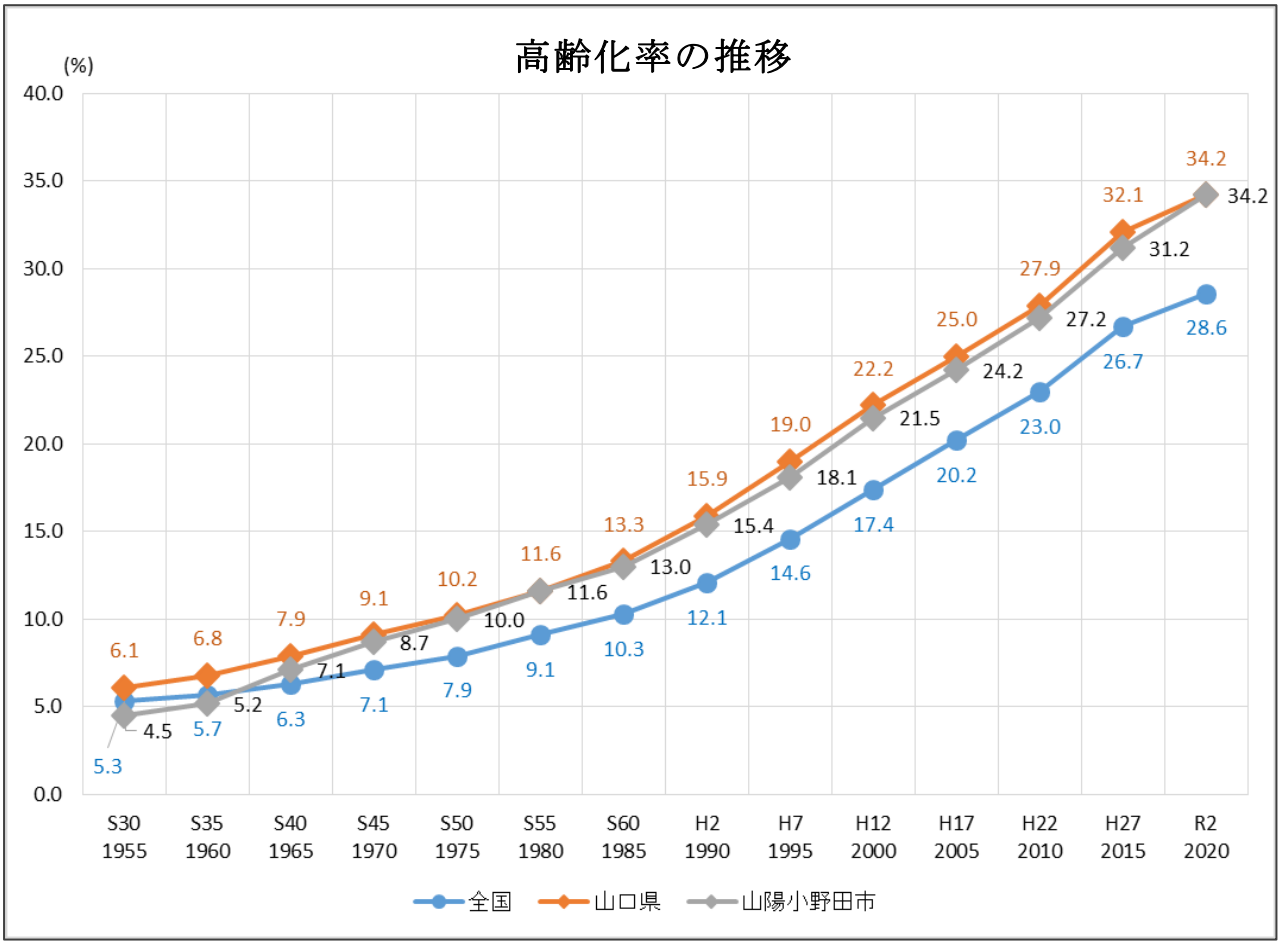
健康寿命の算定方法の主なものは３つありますが、本市では、市町単位で算出可能である「日常生活動作が自立している期間の平均」（山口県算出）を健康寿命とします。

	厚生労働省	厚生労働省	山口県
指標	日常生活に制限がない期間の平均	自分が健康であると自覚している期間の平均	日常生活動作が自立している期間の平均
定義	「あなたは現在、健康上の問題で日常生活に何か影響がありますか」に対して「ない」と回答した人を健康とする。	「あなたの現在の健康状態はいかがですか」に対して「よい」「まあまあよい」または「ふつう」と回答した人を健康とする。	介護保険の要支援１・２、要介護１までの人を健康とする。 （要介護２～５が不健康）
調査	国民生活基礎調査	国民生活基礎調査	介護保険データ
注意点	３年に１度の全国調査 全国値及び都道府県値のみ公表	３年に１度の全国調査 全国値及び都道府県値のみ公表	毎年算出 市町単位の算出が可能 全国値は公表されていない

（出典）健康寿命のあり方に関する有識者研究会の報告（平成 31 年（2019 年）３月厚生労働省）

２　高齢化率

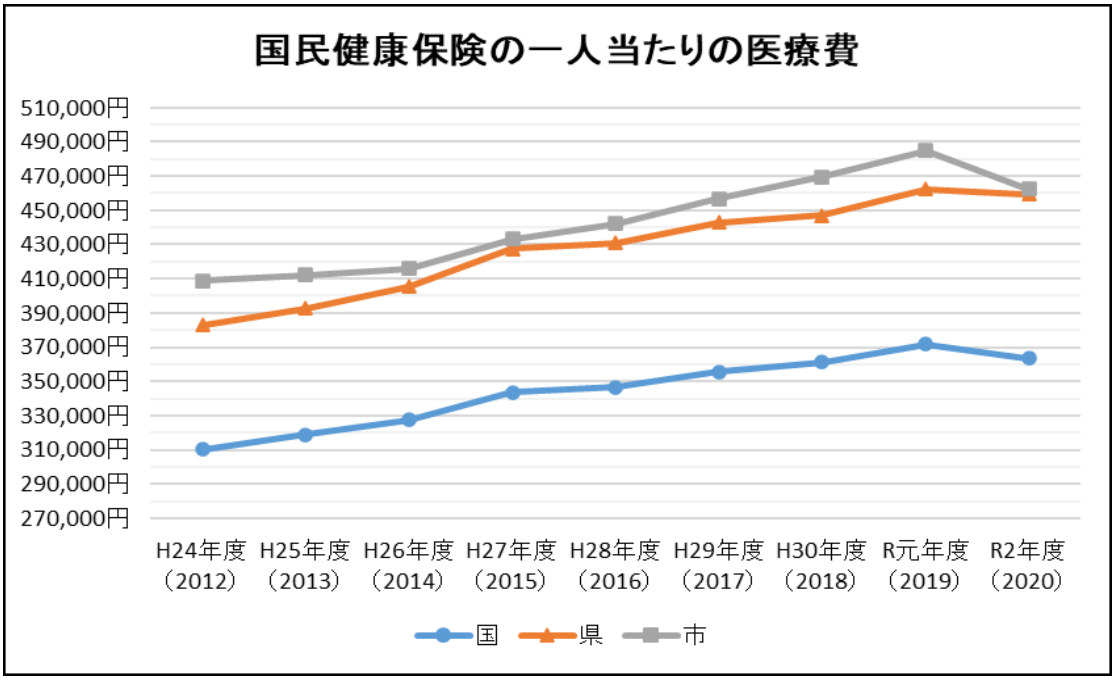
本市の高齢化率（65 歳以上人口割合）は、令和２年（2020 年）時点で34.2%となっています。国平均よりも 10 年程度速いペースで進展してきており、今後も上昇が見込まれます。

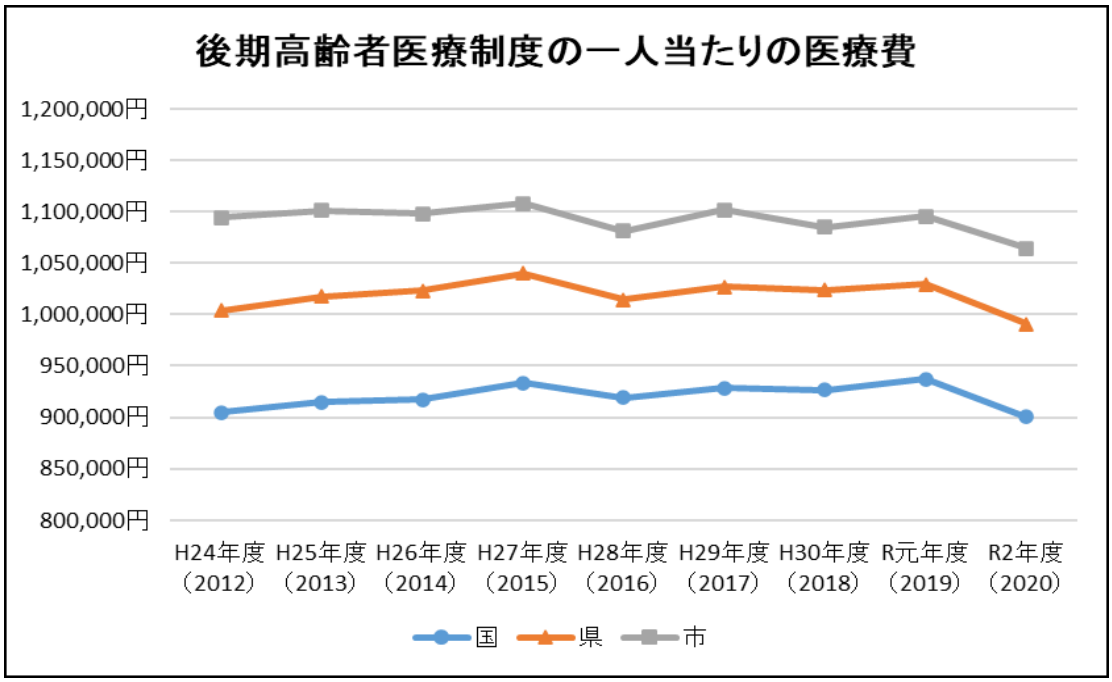


（出典）総務省「国勢調査」

３　医療費

本市の国民健康保険及び後期高齢者医療制度の一人当たりの医療費は、国や県の平均と比較して高い状況です。

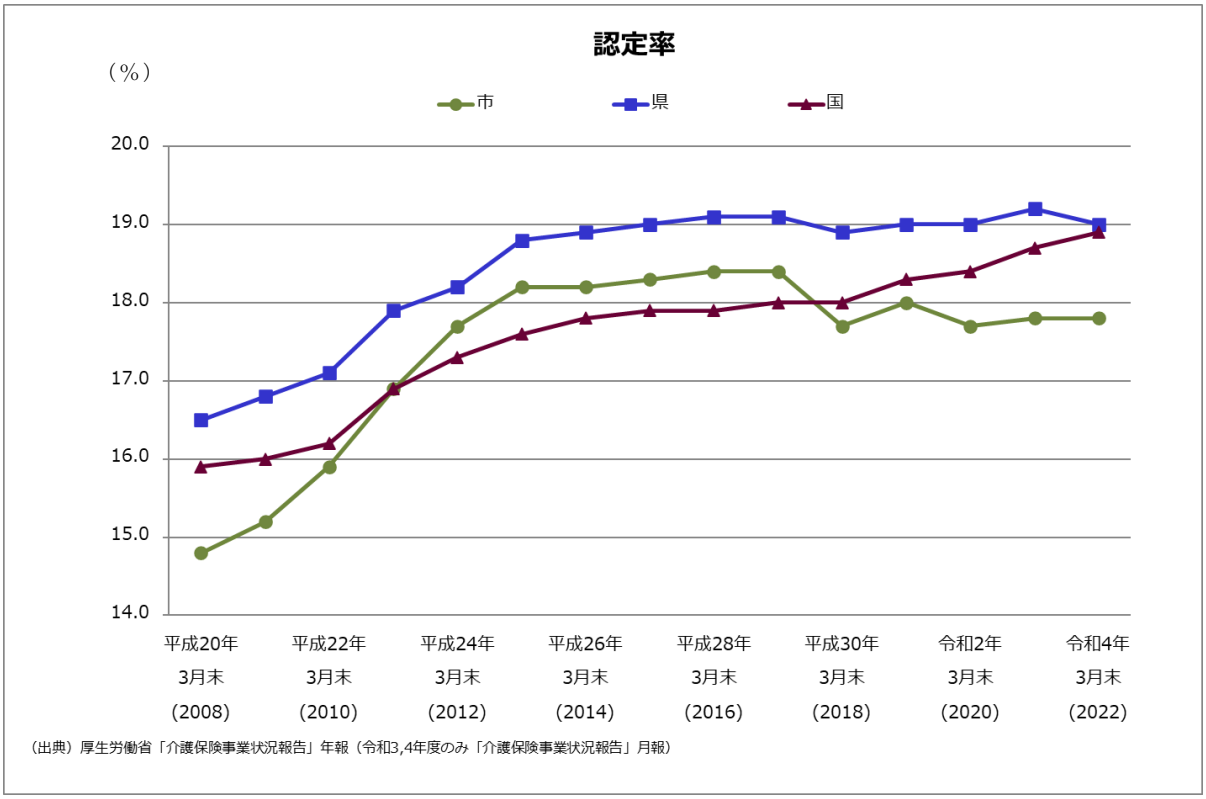




（出典）厚生労働省「医療費の地域差分析」

４　要介護・要支援認定率

本市の要介護･要支援認定率は､令和４年３月末で 17.8%となっています。平成 29 年度から総合事業が開始されたことでいったん下降しています。

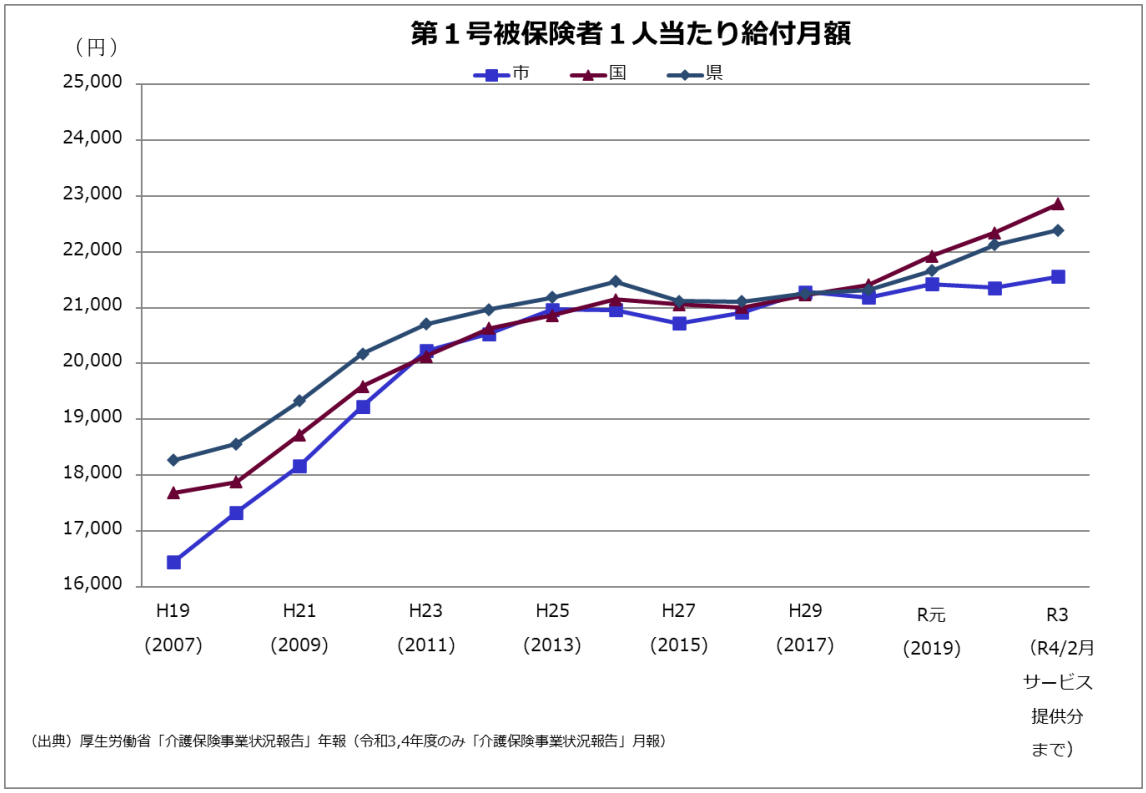


※要介護・要支援認定率とは

65 歳以上の介護保険被保険者（第１号被保険者）の総数の中で、要介護及び要支援の認定を受けている人の割合を示します。

５　介護費用額

本市の介護費用額は、令和４年（2022 年）２月時点で、被保険者１人につき１月当たり 21,560 円となっています。国、県の給付月額は増加していますが、市は、横ばいとなっています。※2020 年度まで確定



※介護費用額とは

65 歳以上の介護保険被保険者（第１号被保険者）のサービス（在宅・居住系・施設）にかかる１人１月当たりの費用の合計額です。

◎本市を取り巻く現状から、今後も上昇をすることが予想される高齢化率に伴い、国民健康保険及び後期高齢者医療制度の医療費や介護保険の要介護・要支援認定率、介護費用額は上昇するものと見込まれます。